

校長室だより

八代市立龍峯小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標 「**学びを生かす子供**」

～自信と誇りをもった「きらりと輝く龍峯っ子」の育成～

R2,8,31
NO,18

修学旅行を延期しました

9月に予定していました「修学旅行」（6年生参加）は、12月に延期することとしました。これまで、予定どおりの実施を目指し、旅行会社や関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染防止に係る様々な対策を講じ、安全に実施できるよう準備を進めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルが、8月4日から「レベル4 特別警報」（不要不急の外出自粛、県外等への移動自粛、全ての催事等の自粛などの要請）を維持した状態（※）であることから、児童の安全を第一義とし、延期することとしました。

6年生の子供たちには、担任が延期の報告とその理由の説明をしました。そのときの子供たちの様子を担任に問うと、誰一人取り乱したり、落胆したりするなどの様子は見られなかったとのことでした。さすが最上級生、行きたかった気持ちは大きかったでしょうが、今の状況を瞬時に考慮し、冷静に受け止めたことに感心しました。

※直近1週間の感染状況を踏まえ、現在（8月25日～）のリスクレベルも「レベル4 特別警報」を維持している状態です。

コロナ渦での学校行事等

上述した修学旅行のほかにも、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策という、前例のない対策に日々悩んでいます。子供たちに学校行事を経験させたい気持ちは山々ですが、子供たちの「安全」（命）を最優先に考え、今後も学校行事の中止や規模の縮小、内容の変更などを行う可能性があると思われます。その際には、何卒ご理解とご協力をお願いします。

なお、修学旅行の延期判断同様、そのよりどころの一つとして「新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベル」を今後も参考にしていくことを申し添えます。



子育て一口メモ

「時間をおく」

幼児教育家 はやし浩司

言葉というのは、耳に入ってから、脳に届くまで、かなりの時間がかかる。相手が子供なら、なおさらである。だから言うべきことは言いながらも、効果はすぐには求めない。また言ったからといって、それですぐ、問題が解決するわけでもない。コツは、言うべきことは、淡々と言いながらも、あとは、時間を待つ。短気な親ほど、ガンガンと子供を叱ったりするが、子供は怖いから、おとなしくしているだけ。反省などしていない。

※学校ホームページも是非ご覧ください。

八代市立龍峯小学校

でご検索ください。